

国会通信

茨城選出の議員

外交努力の 必要性強調

民進・藤田氏

民進党の藤田幸久氏(参院茨城)は11日、参院外交防衛委員会で質問に立ち、緊迫する北朝鮮情勢などに対応するため、韓国(新大統領)に就任した文在寅氏との関係強化に必要なパイプづくりに注力するよう求めた。

藤田氏は、従軍慰安婦被害を象徴する少女像が釜山の日本総領事前に設置された日本側の対抗措置として、駐韓大使が約3カ月に

わたり帰国していたことなどから、文氏とのパイプづくりに懸念を示した。その上で「新しい大統領とのパイプづくりが遅れたのではないか。挽回する必要がある」と述べ、さらなる外交努力の必要性を強調した。

岸田文雄外相は、大使不在の間も情報収集や分析、人脈づくりを進めてきたとし、「今後も新政権との関係構築に向けて努力を続けていく」と答えた。